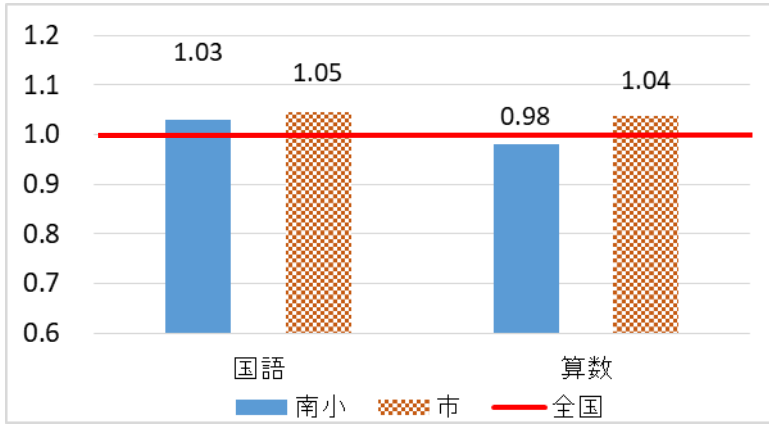


令和3年度 全国学力・学習状況調査について
第七中学校区 南小学校 第6学年

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



○調査結果についての分析、今後の改善方策

【 国 語 】

調査結果を受けて見えてきた課題は大きく2つあり、記述問題に取り組む際に、提示された条件を全て満せていない誤答が多いということ、漢字の書き取りや文法などの語彙力が乏しいことが挙げられる。今後は、複数の条件を提示した上で考えを記述させたり、既習の漢字や言葉を積極的に活用するように指導したりするなど、各教科の学習を通して改善していく。

【 算 数 】

調査結果を受けて特に改善すべき点として、求積問題に取り組む際に「高さ」を正しく見出せていなかったり、かけ算やわり算の「立式や積、商の意味」を正しく捉えられなかったりしている割合が高かった点が考えられる。今後は、図形を多面的に見る学習を充実させていくとともに、計算の習熟については繰り返し学習だけに終始せず、立式の意味を説明させるなどの機会を増やして改善していく。

【質問紙調査】

調査結果を見ると、テレビやスマートフォンのゲームを1日に2時間以上すると回答している児童の割合が高く、その結果、睡眠時間が短くなったり、朝起きられなかったりする児童の割合が、全国平均よりも高い傾向があることが分かった。生活リズムを見直す活動に取り組むなどして、児童や家庭に啓発を図っていく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

「自らの力と意思で進路選択のできる子」の育成に、小中学校が力を合わせ9カ年で取り組んでいる。保護者向けリーフレット「家庭学習のすすめ」を配付し、家庭学習の重要性について啓発しながら連携して取り組んでいる。今年度は、加配を活用した英語科での小中連携教科指導も行っており、取組を通して小学5・6年と中学1年とのスムーズな接続につなげていく。

【 学 校 】

ICT機器の積極的な活用をすすめ、興味関心を子どもたちに持たせたいうで学習に取り組ませる。また、誤答分析結果から見えてきた課題について、放課後学習や宿題で補習を行っている。